

## 第6学年きらきらタイム指導計画

### 1. 単元名 「知ろうよ！私たちの城上」

### 2. 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

子どもたちは、これまでにきらきらタイムや社会、理科の学習を通して、日本をはじめ、世界各地の自然環境やその問題について調べたり、対策を考えたりしてきた。また、自分たちの郷土である城上町についても調査活動を行い、その自然の豊かさに改めて目を向けていこうという思いが高まっている。

その自然の豊かさを大切にしていきたいということとあわせて、自分たちの住む城上町、川内市、鹿児島県に伝統的に伝わるものを学びたい、そしてそれを自分たちも次の世代に伝えていきたいという気持ちをもつようになってきている。

そこで、本単元では、自分たちの郷土、城上町に流れる高城川を探索する活動を通して、そこに生息する生き物や草花を把握し、まとめていく。また、高城川の水質についても調査していく。その活動の中から自然の素晴らしさや重要性について考えを深めさせたい。

もう一つの活動として、校区で生活されている高齢者の方々や住民の方々に協力していただき、郷土に伝わる遊びや料理を学び、実際に体験する中で伝統的なものを受け継いでいこうという気持ちを高めていきたい。

#### (2) 指導の基本的な立場

本校区は、豊かな自然に恵まれ、子どもたちは常にその自然と関わりをもって生活している。昨年までの総合的な学習の時間においては、「高城川ウォークラリー」や「城上の春を形にしよう」という単元を通して、自然の素晴らしさやありがたさを身をもって感じ取ってきている。また、5年時の「フリーマーケット」活動を中心に、自分たちが地球の環境を守っていくためにどんなことができるのかといことを考え、実践してきた。しかし、城上町の自然が他の地域と比べてどの程度豊かなのかということを実感できていないのが現状である。

そこで、本単元の展開にあたっては、城上地域ガイド「城上散歩」を参考に城上の自然がどのような状態であるのか探索する活動を通して、自然の豊かさを感じ取らせていきたい。その中から、高城川で生きている生物や草花に視点をあて、どのような環境で生活し、どのような特徴があるのか調べさせたい。あわせて、高城川のポイント（上流、中流、下流それぞれ5・6箇所）ごとの水質を調べ、澄んできれいな水が流れていることを実感させたい。そして、それらの生物や水を守っていくために、自分たちがどういう生活をおくっていくべきなのか改めて考えさせていきたい。

また、郷土の自然と同様に大切な伝統的なもの（遊びや料理）も校区の方々から学

び、自然とともに守っていこうという気持ちを高めさせたい。

### 3. 活動経過及び計画 (全30時間)

#### 出会いの場 (3時間)

本年度の総合的な学習の時間について説明。活動計画について考える。	・総合的な学習の時間について説明。その後、本年度のテーマが「知ろうよ！私たちの城上」ということで、郷土・環境について学習を進めていくことを確認。実際にどんな活動を進めていくかを話し合い、「城上さん こんにちは」と「たくさん知ろう 昔の体験」の二つの小単元を設定。
----------------------------------	---

#### 深めの場 (25時間)

##### 「城上さん こんにちは」

高城川調査の計画
高城川調査の目的，日時，場所，班編成，まとめ方について話し合う。 【決定事項】 目的～高城川及び周辺に生息する生き物や草花の観察，高城川の水質調査 日時～6月24日(月)1～4校時 場所～高城川 上流(小川) 中流(下塚) 下流(今寺)の3ポイント 持っていくもの～筆記用具，記録用紙，袋，飲み物，帽子，虫かご，はさみ， ペットボトル，デジタルカメラ 服装～水着，体育服，ビーチサンダル 班編成～小川班(6名)，下塚班(6名)，今寺班(6名) まとめ方～マップ，図鑑

高城川調査
高城川に生息する生き物や草花について調査を行う。あわせて水質検査も行う。 (小川班)12種類の生き物，27種類の草花を採取，撮影。水質は硬水(おいしい水)， 残留塩素なし。 (下塚班)11種類の生き物，23種類の草花を採取，撮影。水質は硬水(おいしい水)， 残留塩素なし。 (今寺班)9種類の生き物，18種類の草花を採取，撮影。水質は硬水(おいしい水)， 残留塩素なし。

高城川調査のまとめ
-----------

集めてきた材料をまとめる。

【生き物】撮影してきたものを印刷し、図鑑としてまとめる。(名前, 特徴, 生息場所)

【草花】撮影してきたものを印刷し、図鑑としてまとめる。(名前, 特徴, 生息場所, 種類, 長さ)

押し花にしてまとめる。

【水質】おいしい水検査セットを使い, 全硬度, 残留塩素を測定する。

### 発表会

高城川調査のまとめたことを班別に発表する。

### 「たくさん知ろう 昔の体験」

(時間外) 郷土の話聞く

郷土に伝わる遊び, 郷土に伝わる料理という2つの視点を決め, 近所のおじいさんやおばあさんから話を聞く。

### 調査活動

パソコンや本を使って, 郷土の遊び, 郷土料理について調べる。また, 郷土料理に詳しい原さん(原商店)のお宅に行き, 教えていただく。

21 22 郷土の遊び, 郷土料理発表会

自分たちが調べたことを発表する。(グループ別)

23 24 25 26 郷土に伝わる料理をつくろう

- ・実習計画を立てる。(料理, 材料, 道具等)
- ・調べてきたことをもとに, 実習する。

**本 時**

27 28 郷土に伝わる遊びを体験しよう

調べてきた郷土遊びをしたり, 郷土に伝わる遊び道具を作ったりする。

### 広がりの場(2時間)

29 30 学習のまとめ

今年1年間で取り組んできた総合的な学習についてまとめをする。活動を通して学んだことや感想をおもいおもいにまとめる。お世話になった方々にお礼の手紙を書く。

4. 本時の学習(24, 25, 26 / 30)

(1) 目 標

- ・ 自分たちが調べてきた郷土に伝わる料理（菓子）をつくることを通して，鹿児島  
の風土の中で育った食べ物を大切にすることや郷土に伝わる知識を学んでいくことの  
大切さを知ることができる。

## (2) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	時間	活動の支援
つ か む	1. 本時の学習について話し合う。 <b>郷土に伝わる料理をつくらう。</b>	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学習に取り組めるよう，郷土料理の意味やどのような郷土料理があるのか例をあげ，意欲付けをする。</li> <li>・これから取り組んでいく郷土料理のことや食生活についてなど子どもたちが疑問に思っていることを中心に質問させる。</li> </ul>
	2. 原さん，栄養士の先生の話聞く。 ・郷土料理について ・栄養面について		
深 め る	3. 郷土に伝わるお菓子（かるかん）をつくる。 〔材料〕 ・かるかん粉 ・山芋 ・白砂糖 ・水 ・卵白 〔道具〕 ・ミキサー ・むし器 ・ケーキカップ ・竹串 ・ボール等	80分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくり方（別紙資料）を参考に作っていく。その中で郷土に伝わる知識のすばらしさを感じ取れるよう助言していく。</li> <li>・家庭科等の調理実習との目的の違いをしっかりと理解させる。</li> <li>・包丁等刃物類を使うので安全面にも注意させる。</li> <li>・どのような経緯でこのお菓子が伝わっているのかということも考えながら試食させる。</li> </ul>
	4. 試食する。		
広 げ る	5. 郷土に伝わるお菓子（かるかん）をつくって，試食した感想を出し合う。	40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・味についての感想ということではなく，郷土料理のすばらしさ，大切さという視点で感想を発表させる。</li> <li>・郷土に伝わっている知識の大切さを考えさせ，自分たちも次の世代に伝えていきたいという意欲を高めさせる。</li> </ul>
	6. 次時の学習・今後の生活について話し合う。 7. 後片付けをする。		

## (3) 評 価

- ・ 自分たちが調べてきた郷土に伝わる料理（菓子）をつくることを通して，鹿児島  
の風土の中で育った食べ物を大切にすることや郷土に伝わる知識を学んでいくことの  
大切さを知ることができたか。